



公益社団法人

日本語教育学会

2022年度第3回支部集会【東北支部】開催報告 「アフターコロナにおける地域日本語教育の展望と課題 -東北の地域特性をふまえて-」

主催：公益社団法人日本語教育学会

開催日：2022年12月10日（土）10：00-12：00

会場：オンライン（Zoom）

参加人数：37名（会員28名・一般9名）

2022年度東北支部集会が12月10日（土）にオンラインにて開催されました。様々な研究会や学会が同日に行われている中での開催でしたが、東北地区とその他の地区から半々ぐらいの割合で、会員、非会員の皆さま37名にお集まりいただき、開催することができました。

第一部として「アフターコロナにおける地域日本語教育の展望と課題-東北の地域特性をふまえて-」と題して、NPO法人青少年自立援助センター定住外国人支援事業部 minc プログラムコーディネーターの浅倉みさき氏、こおりやま日本語教室代表の三田眞理子氏にオンラインと対面での連携の事例についてお話いただきました。オンラインでの学習支援と地域の日本語教室が連携することによって、各地域の進学・通学の事情を反映した支援の困難さ、子どもたちの実際の居場所づくりができないなどといったオンライン学習だけでは課題となっていた点も克服することが可能になるということを実際の事例を交えながらお話いただきました。またこおりやま日本語教室との連携事例の紹介では、どのような形で具体的に連携が進められたのかも知ることができました。大人たちが連携することで「つながり」（孤立状況の解消）をこどもへ届けるという言葉が印象的でした。講演につづいて、3～4人のグループにブレイクアウトし、講演者を囲んで自由に話す時間を設けました。各グループでは、非常に活発で、ときにはとても熱い話し合いが行われました。最後15分で各グループで話したことをご報告していただき、質問が出た場合は講演者の方にお答えいただきました。

第二部では、2件の交流ひろば、日本語教師養成に関わるものと、日本語学習支援者養成に関わる内容の発表でした。第一部に引き続き多くの方がご参加くださり、それぞれのルームで熱心な質疑応答が行われました。

今回の集会では、昨年に引き続き土曜日の午前2時間にコンパクトにまとめて開催しました。午後からの地域の教室を休むことなく参加できる、午後から他のセミナーに参加できるといった声も参加者から聞こえ、今後も短い時間ですが、密度の濃い支部集会を実施していけたらと思っています。今回、お忙しい中講演くださった浅倉氏、三田氏には心から感謝申し上げます。今回は東北地区以外からも多くの方が参加していただき、その方々の多くは初めて東北支部集会にご参加くださいました。引き続き、散在地域がほとんどの東北だからこそ、皆さんが「つながって」いけるような場の提供を行いながら、他の地区でも同じ悩みを持っていたり、よく似た状況に置かれている人たちがつながっていけるような場をつくっていきたいと思います。

（報告者：支部活動委員 島崎薫・菊池哲佳・嶋ちはる）